



JFRL 情報宅配

*** 農林水産省 * (<http://www.maff.go.jp/>)**

1. [農林水産物・食品の輸出に関する統計情報] (令和 4 年 7 月 5 日 輸出・国際局 輸出企画課)
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html
2. [「アグリビジネス創出フェア 2022」で最新の研究成果を紹介しませんか]
(令和 4 年 7 月 13 日 農林水産技術会議) <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/220713.html>

*** 厚生労働省 * (<https://www.mhlw.go.jp/>)**

1. [2022 年 3 月 7 日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会
遺伝子組換え食品等調査会 議事録] (令和 4 年 6 月 22 日 医薬・生活衛生局 食品基準審査課
新開発食品保健対策室) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26392.html
2. [令和 4 年 6 月 13 日指定成分等含有食品等との関連が疑われる健康被害情報への
対応ワーキンググループ (第 2 回) 議事要旨] (令和 4 年 6 月 24 日 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 新開発食品保健対策室) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26167.html
3. [令和 4 年度第 1 回水質基準逐次改正検討会] (令和 4 年 6 月 27 日 医薬・生活衛生局
水道課水道水質管理室) 議題 水質基準等の改正方針 (案) について
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000183130_00012.html
4. [第 9 版食品添加物公定書追補 2 の作成について] (令和 4 年 7 月 12 日 薬生食基発 0712
第 2 号) <https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000963866.pdf>
第 9 版食品添加物公定書 追補 2(令和 4 年 7 月 12 日)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuten/kouteisho9e.html

*** 内閣府 消費者委員会 * (<https://www.cao.go.jp/consumer/index.html>)**

1. [第 67 回 食品表示部会 議事録] (2022 年 6 月 6 日開催)
 - ・インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブックについて
 - ・「即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」の概要について<https://www.cao.go.jp/consumer/kabusoshiki/syokuhinhyouji/bukai/067/gijiroku/index.html>

*** 内閣府 食品安全委員会 * (<https://www.fsc.go.jp/>)**

1. [広報誌『食品安全』第 59 号] (2022 年 07 月 01 日)
https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index.html

*** 消費者庁 * (<https://www.caa.go.jp/>)**

1. [「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」の啓発チラシ・ポスターを掲載しました]
(2022 年 6 月 22 日 食品表示企画課)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_sanitation/food_additive/
2. [令和 3 年度 食品表示に関する消費者意向調査報告書] (令和 4 年 6 月 24 日 食品表示企画課)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2021/#food220624
3. [令和 3 年度における家庭用品品質表示法の運用状況等] (令和 4 年 6 月 30 日 表示対策課)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/information/operation/
4. [【令和 4 年度 こども霞が関見学デー】栄養成分表示ってなあに?] (令和 4 年 7 月 6 日
食品表示企画課)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/nutrient_declaration/children/
5. [令和 3 年度 地方公共団体における 食品ロス削減の取組について <事例紹介>]
(令和 4 年 7 月 19 日 消費者教育推進課)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/case/local.html

* 今月のトピックス *

[食品表示基準の一部改正について～栄養成分表示に関して～]

令和4年3月30日に消費者庁から「食品表示基準の一部を改正する内閣府令（令和4年内閣府令第21号）」が公布され、「食品表示基準」（平成27年内閣府令第10号）が改正されました。今回の改正では「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」（以下、「成分表2020年版」）において新しい分析方法が追加されたことなどを踏まえ、食品表示基準に係る通知「食品表示基準について」の「別添 栄養成分等の分析方法等」も合わせて追加や修正が行われました。

今回の改正における分析方法に関する主な内容

「食品表示基準」

- ・ 脂質の測定法が『**溶媒抽出-重量法**』へ変更
- ・ クロム，セレン，ヨウ素に**誘導結合プラズマ質量法（ICP-MS法）**の追加

「別添 栄養成分等の分析方法等」

- ・ 試験法の細部を適宜変更できるような記載に変更（自動装置の使用など）
- ・ たんぱく質の換算係数の考え方の追加
- ・ 測定対象の明確化（脂肪酸，糖類）



「食品表示基準」別表第9に掲げる「栄養成分等の測定及び算出の方法」に関する改正について脂質の分析方法に適用された「溶媒抽出-重量法」は、成分表2020年版でも採用されており、測定原理に基づいた複数の分析方法の総称です。なお、「溶媒抽出-重量法」に含まれる各分析方法の内容は従前から変更はありません。

クロム，セレン，ヨウ素の分析方法については，ICP-MS法が追加されました。特別用途食品の総合栄養食品はマイクログラムレベルという非常に微量な含有量を測定し，基準範囲内であることを確認する必要があります。従前の分析方法ではそのレベルの含有量を精度良く測定することは困難でしたが，ICP-MS法では可能です。

なお，たんぱく質，脂質及び炭水化物について，成分表2020年版でエネルギー算出に使用された「アミノ酸組成によるたんぱく質」，「脂肪酸のトリアシルグリセロール当量」及び「利用可能炭水化物（単糖当量）」は，食品表示においてこれらを実行するには事業者への負担が大きいという理由で，今回の改正では採用されませんでした。

弊財団では，上記の改正に対応した試験の受託をしております。お気軽にご相談ください。

JFRL ホームページ（栄養や機能を調べる）：<https://www.jfrl.or.jp/service?genle=search>

[参照ホームページ]

- ・ 食品表示法等（法令及び一元化情報）（消費者庁ホームページ）
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/
- ・ 別添 栄養成分等の分析方法等（消費者庁ホームページ）
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/assets/food_labeling_cms201_220330_12.pdf
- ・ 日本食品標準成分表2020年版（八訂）（文部科学省ホームページ）
https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html

☆お知らせ☆

第11回 一般財団法人日本食品分析センター技術成果発表会を10月12日に開催します。

本年は皆様のご要望にお応えし，会場・オンライン併用のハイブリットでの開催を予定しています。申し込み開始は8月中旬です。ご参加お待ちしております。

内容についての問合せ，配信アドレスの変更・追加配信希望・配信停止はHPのお問合せよりお願いいたします。<https://www.jfrl.or.jp/contact/create>

配信元：一般財団法人日本食品分析センター (<https://www.jfrl.or.jp/>)